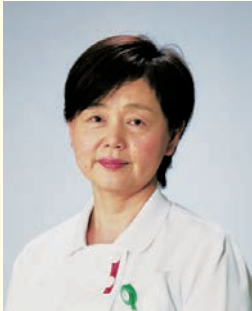


看護部の取り組み



平素より、先生方には多大なるご厚情を賜り誠にありがとうございます。平成29年4月から副病院長・看護部長を拝命し1年半がたちました。患者サービス改善委員会と看護部の取り組みについてご紹介いたします。

患者サービス改善委員会では、各フロアにご意見箱を設置して患者さんやご家族のご意見を収集しています。意見が多い順に並べると、①病院の設備・機器の改善 ②医師や看護師の説明不足等 ③接遇・待ち時間への要望となっています。環境改善に関して、平成29年度末、外来フロア2階・3階に患者休憩コーナーを設置しました。車椅子の方もご利用いただけるよう幅広のテーブルを設置しています。新聞や雑誌を読

んだり、軽食をとったり、多くの患者さんやご家族の方にご利用いただいています。マナーアップに関しても病院全体で取り組んでまいります。

久留米大学病院看護部には、急性期病院として、①患者の病態を把握し、高度で安全な医療を提供する力、②チーム医療・チームケアをマネジメントする力、③今後ニーズの高まる認知症・がん患者の医療・看護を実践する力、④人生の最終段階における意思決定を支援する力などが求められています。「一つ先のニーズに応える」を平成30年度看護部キャッチフレーズとして、認知症ケアや周手術期症状緩和の充実、救急蘇生の定期的な訓練と教育、急変の兆候を捉えて対応する仕組みづくりに取り組んでいます。今年度のトピックスは、院内認定看護師「入退院支援看護師コース」開講です。効果的な入退院支援を目指します。そのほか、がん看護、感染看護など多くの公開講座を企画しています。地域の看護職員の方のご参加をおまちしています。

今後とも、地域の皆様のニーズに応えることができるよう努力し、質改善と人材育成に取り組んでいく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年10月

副病院長・看護部長
副センター長

上野 知昭

病院執行部体制

病 院 長	八 木 実
病院長特別補佐	志波 直人
副 院 長	鳥村 拓司
	上野 高史
	田中 芳明
	渡邊 浩
	福本 義弘
	高須 修
	上野 知昭

私たちの理念

人と地球にやさしい、^{いのち}生命を慈しむ医療

私たちのめざす医療

- 1. 患者中心の医療**
生命の尊さにもとづき、患者や家族の権利を尊重し、心のかよう医療を行います。
- 2. 共生の医療**
地球環境にやさしい共生の医療をめざします。
- 3. 高度で安全なチーム医療**
安全性を確保し、高度で専門的なチーム医療の確立をめざします。
- 4. 地域と共に歩む医療**
地域医療機関との連携を密にした、継続性のある医療を行います。
- 5. 優れた医療人の育成**
教育機関として高水準の医療技術と思いやりを備えた医療人の育成に努めます。

TOPICS

病院北館 放射線腫瘍センター（新棟）のご紹介

放射線腫瘍センター長 淡河 恵津世

がん治療に対する放射線治療は機器の進歩により高精度化しています。化学療法や一部の免疫療法と併用することもありますし、手術前後に行うこともあり、多岐にわたって使われるようになりました。久留米大学病院としては、このような時代の流れに遅れないように高精度な放射線治療を地域の皆さまに提供できる準備が整って参りました。

現行の放射線治療センター（旧棟）は約50年の歴史をもって閉じ、2018年10月1日に放射線腫瘍センター（新棟）としてオープンします。放射線治療センターの老朽化と狭さが年々進化する放射線治療機器に対応しないということで、以前より新施設の必要性は検討されてきました。2014年12月末の理事会で旧西棟空地の建設の中に移設が決定して以来、約4年の時間を経て、久留米大学の90周年記念事業として病院北館1階に全く新しい施設と治療機器を設置することができたのは、関係各位の多くのお力添えがあったからと心より感謝しています。

治療施設は本館北館1階にあり、外来ならび病棟からは本館3階から移動できるようになります。本館3階のCT・MRI検査室のやや右手に新しくできた通路を経てエレベータで1階に降りると直ぐにありますので、旧施設よりも便利になります。また、外来通院の患者さんには専用駐車場と治療費まとめ払いで、時間の負担をできる限り少なくするお手伝いに心がけています。治療機器は治療室1に高精度リニアック治療装置（トウルービーム）、治療室2にCTとリニアック治療機器が一体化したトモセラピー（ラディザクト）、温熱治療（サーモトロンRF8）を設置し、早期がんの根治治療から進行がんの緩和治療まで幅広く行うことが出来ます。治療室1・2には天井に空が見えますので、閉鎖空間になりがちな暗い放射線治療のイメージは驚くほど変わると思います。「空?」「窓があるの?」と思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、スカイファクトリーという特殊な構造が組み込まれているので本当の空ではありません。がん治療機器をもって、放射線治療に特化した充実したスタッフ（医師・物理士・品質管理士・放射線診療技師・看護師・受付・補助員）で、高精度の治療を提供できるように頑張ります。



新棟外観



天井：スカイファクトリー



治療室1 (リニアック治療装置：トウルービーム)



治療室2 (トモセラピー：ラディザクト)



温熱室 (ハイパーサーミア：サーモトロンRF8)

「地域の医療機関から放射線腫瘍センターへの紹介方法」

放射線治療に関しては、放射線治療専門医師が月～金に放射線科外来で紹介を受けています。基本的に新患紹介は予約制になっていますので、久留米大学病院紹介予約センター（医療連携センター内）にご連絡ください。

温熱療法に関しては、随時対応してまいりますが、地域医療機関からのご紹介は11月より対応をさせていただきます。

<2018年10月 放射線科外来担当医師>

月	火	水	木	金
末藤	淡河／村木	辻	淡河*	服部

*木曜の新患は午前・午後の対応となります。

(予約専用フリーダイヤル) 電 話：0800-200-4897

(予約専用フリーダイヤル) ファクス：0800-200-9489

紹介予約センターで『患者直接予約可の診療科を拡大します!!』

医療機関の先生方、医療連携ご担当の皆様におかれましては、いつも紹介予約センターをご利用いただき深くお礼申し上げます。

平成30年5月7日から、患者さんからの直接予約を5つの診療科で試行を開始しておりました。

この度、今年10月1日から5つの診療科を増やし、全10診療科にて患者さんからの直接予約をお受けすることとなりました。

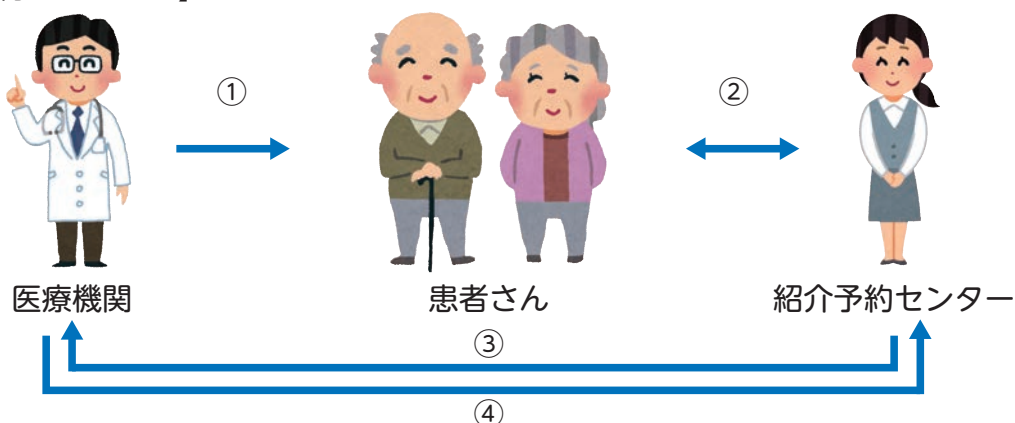
これからも鋭意努力してまいりますので、紹介予約センターをご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【患者さんから直接予約可能な診療科】 ※平成30年10月1日より、全10診療科にて実施

試行中：泌尿器科、歯科口腔医療センター、脳神経内科、腎臓内科、膠原病内科

追加：緩和ケアセンター、内分泌代謝内科・糖尿病センター、乳腺外科、呼吸器病センター、小児外科

【ご予約のイメージ】



- ① 患者さんに「診療情報提供書」と「久留米大学病院紹介予約票（※1）」をお渡し下さい。
- ② 患者さんからのお電話で受診日時を決定します。
- ③ ご予約が確定次第、受診予約決定通知書を紹介元医療機関へFAX送信いたします。
- ④ スムーズな受診につなげるため、診療情報提供書の事前FAX送信にご協力ください。

※1 詳細につきましては、久留米大学ホームページ <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>→医療機関の方へ
→患者さんご紹介をご覧ください。

※受診の緊急性がない方、上記10診療科へご紹介の方、電話でのやりとりで支障がない患者さんが対象です。

※セカンドオピニオンのご予約は、セカンドオピニオン担当者（0942-31-7903）、再来予約につきましては各診療科受付へご連絡ください。

（お問い合わせ）

久留米大学病院紹介予約センター 電話：0800-200-4897（フリーダイヤル）0942-27-5673（直通）
FAX：0800-200-9489（フリーダイヤル）